

単  
元  
名

～ 歴史上の人物になりきって復習しよう ～

## なりきり新聞を発行しよう

教科書出版社名（ 帝国書院 ）

○ 中学校（ 2 ）年 教科等（ 社会 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

興味のある人物や時代について調べ、新しい情報を得る力。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

本から得た情報を、歴史上の人物の視点から文章やイラスト等で表現できる力。

歴史上の人物（他者）の考えや気持ちを想像する力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集…調べたい内容や新しい知識が得られる本を選び、必要な情報を集める。

●整理・分析…発信したい内容の選択や新聞のレイアウト等を考えて整理する。

様々な説がある中で自分自身の見解と照らし合わせる。

●まとめ・表現・発信…調べた内容や歴史上の人物の考えや気持ちを考えて1枚の新聞にまとめる。

読者の読みやすさや情報の伝わりやすさを工夫して、他者に表現する場を設定する。

○ 学習の展開（全2時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次☆	歴史上の人物の誰になりきって新聞を発行するかを決め、調べたい内容や新しい知識が得られるような本を見つける。
第2次☆	選んだ本を活用しながら歴史上の人物になりきって新聞を書く。

(本時 1 / 2 時)

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

本時のねらい  
歴史上の人物の視点から歴史的事象や、その人物の考えや気持ちを新聞で表現する力を身に付ける。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
○導入 5	1. これまでに学習した時代を振り返り、本時の目標を確認する。  【本時の目標】 歴史上の人物になりきって新聞を発行しよう	
○展開 40	2. 誰になりきって新聞を発行するか決める。  3. 選んだ本の参考文献をメモする。  4. 選んだ人物になりきってからピックアップする記事の内容や、新聞のレイアウトなどを構成する。  5. 「なりきり新聞」用のレポート用紙を用いて、新聞を発行する。	<p>・複数の図書室の本から、誰になりきるのかを考えさせる。</p> <p>・国語の授業で学習した参考文献の書き方を改めて確認させる。</p> <p>・読者が読みやすいような工夫や仕掛けを促す。</p> <p>・歴史的事象だけでなく人物の気持ちや考えなども想像させる。また、一人称に注意させて書かせる。</p>
○まとめ 5	5. レポート用紙の「工夫したところ・頑張ったところ」の欄に、工夫したところを記入する。	・次回の授業で続きを書くことができるように、重要なページや個所をメモさせる。

図書館活用  
ポイント



